

労働安全衛生

当社グループは、「安全はすべてに優先する」という基本方針のもと、従業員の安全と健康の確保および快適な作業環境の整備に取り組んでいます。今後も従業員の主体的な「気付き」と「改善」を基盤に、安全で安心して働ける職場づくりを推進してまいります。



基本方針

- 危険に対する意識の向上
- 職場の健康管理(心と身体)
- 職場環境の継続的改善

達成目標

- 労働災害・通勤災害をゼロとする
- 自責自動車事故をゼロとする
- 健康診断、ストレスチェックの100%実施

推進項目

1 危険に対する意識の向上

- ・リスクアセスメントによる各職場の危険箇所の再確認
- ・危険予知活動(KYT)の強化
- ・指差し呼称の実施

2 化学物質の自律的管理の推進

- ・原材料SDSの再確認
- ・リスクアセスメントの実施
- ・保護具の着用

3 5S活動の徹底

- ・不必要なものを処分し、働きやすい職場をつくる
- ・定期的な清掃で、職場・設備を使いやすい状態に維持する
- ・安全を達成するためのルールを習慣化する

4 安全運転意識の高揚

- ・定期的な車両点検の実施
- ・ながら運転の禁止
- ・かもしれない運転の励行



5 心と身体の健康管理

- ・ストレスチェックの実施と高ストレス者のフォロー、高ストレス職場の改善活動
- ・健康診断の100%受診と有所見者のフォロー
- ・作業環境測定の100%実施

2025年度の主な活動内容

● 労働災害防止

各職場で危険予知訓練(KYT)を実施し、従業員の気付き力向上を図るとともに、不安全行動防止の啓発や優良事例の共有により、安全意識の向上に取り組みました。

● 熱中症防止

労働安全衛生規則改正を踏まえ、予防および早期対応に関する教育を実施するとともに、経口補水液や塩分タブレット等を各職場・営業車に配備し、全社的な対策を推進しました。

● 安全運転の意識高揚

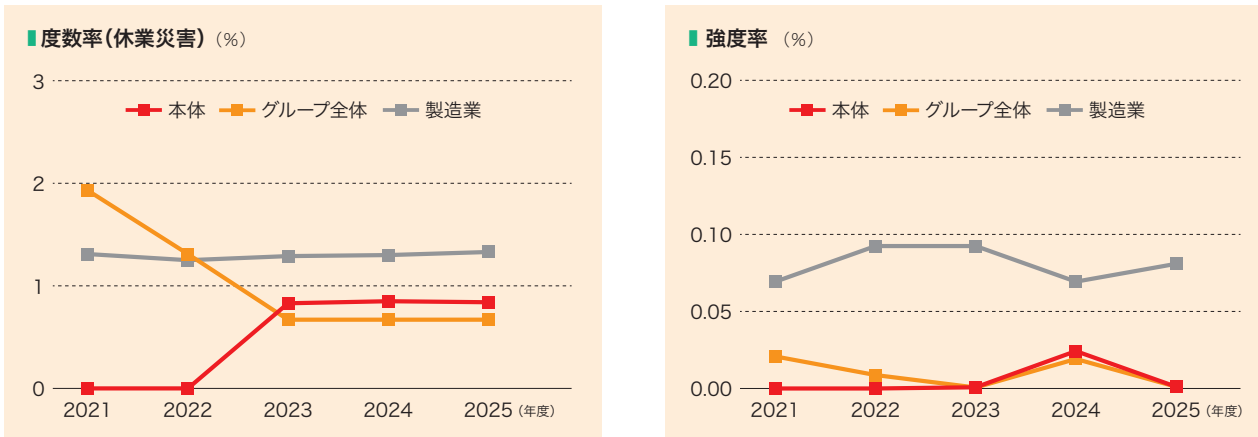
啓発活動および道路交通法改正の周知を通じて、自動車・自転車を含めた安全運転の徹底を図りました。



ポスター作成による不安全行動防止の啓発

▶ 労働災害発生の状況

すべての休業災害および不休災害について原因調査と対策を実施するとともに、対策実施後の有効性を確認し、類似事故の防止に努めています。また、「東京インキ安全基準チェックシート」に基づき、設計段階から機械設備のリスク低減を図るとともに、手順・ルールの徹底によるヒューマンエラーの防止にも注力しています。



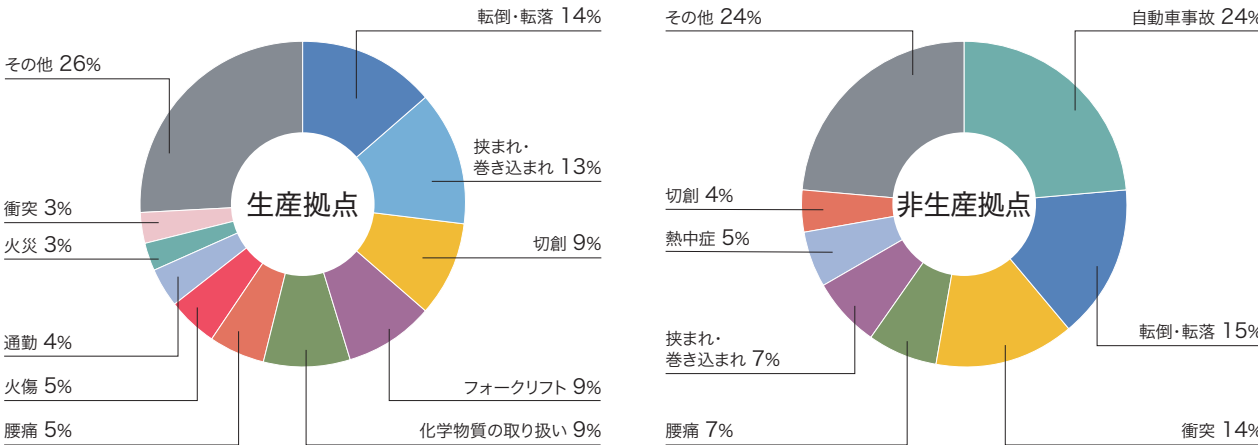
度数率：延べ実労働時間100万時間当たりの労働災害による死傷者数で災害発生の頻度を表します。

強度率：延べ実労働時間1,000時間当たりの労働損失日数で、災害の重さの程度を表します。

度数率、強度率の出典：厚生労働省「労働災害発生状況」

▶ リスクアセスメント実施結果

期初に全社でリスクアセスメントを実施しました。フォークリフトについては「フォークリフトに関する安全基準」、化学物質については「保護具着用管理規準」を策定し、事故防止に取り組んでいます。



▶ 自動車事故発生の状況

自動車事故件数は前年度と同水準でしたが、通勤時の自動車による災害は増加しました。

通勤経路におけるリスクの考慮が十分でなかったことを踏まえ、2025年度からは滑りやすい箇所や見通しの悪い場所等の通勤リスクもリスクアセスメント対象に追加し、各拠点でのリスク抽出を進めています。

